

AI時代の大学教育への取組みと展望

日時

2025年7月24日(木)
14:30～17:00

会場

大阪工業大学 梅田キャンパス
OIT梅田タワー 2階セミナー室
〒530-8568
大阪市北区茶屋町1-45



プログラム

14:30～14:35	開会挨拶・紹介
14:35～15:30	講演(1)
15:30～15:40	質疑応答
15:40～15:50	休憩
15:50～16:45	講演(2)
16:45～16:55	質疑応答
16:55～17:00	閉会挨拶、お知らせ
17:30～	懇親会(希望者)

生成AIをはじめとしたAI技術の革新的発展は大学教育にも大きな影響を及ぼしています。これからのAI時代における大学教育の在り方を巡り、AI時代にこそ大切になる理解力を高める教育への取組み、ならびに生成AIを教育面と学習面の両面から上手く活用する試みについて、お二人の著名な講師の方々にご紹介頂きます。

参加申し込みは、7月21日(月)まで
参加費：無料

会場での参加：定員40名
オンライン参加：定員100名

懇親会：定員12名 @21階レストラン
(要事前予約：参加費 5,000円)

参加
申し込み



講演① AI時代にこそ大切な 「知識を理解に昇華させる」教育 への取組みと展望

大規模言語モデルは、膨大な知識を有し自然な文章を生成してくれます。このようなAIの時代だからこそ、学生の皆さんには「知識は覚えるのではなく理解へと昇華させるもの」と拘って頂きたいと考えます。これを促すための学修指導法の工夫、ならびに「論理的思考力」「創造力」といった「汎用力」の涵養に向けた試みをご紹介します。

保立 和夫 氏 (IEEE Life Fellow)

豊田工業大学 学長
東京大学名誉教授
元 東京大学 理事・副学長
元 応用物理学会 会長

講演② 生成AIが変える高等教育 ～インドネシア Telkom大学の 実験から～

高等教育では生成AI、特にLLM(大規模言語モデル)への対応が急がれる。教員の準備状況にかかわらず学生は生成AIを利用し始めている。本講演では、インドネシアTelkom大学の実験をもとに、教育面では成果重視からプロセス重視への転換と、学習面では学生のLLMリテラシー向上が課題であることを述べる。

石田 亨 氏 (IEEE Life Fellow)

京都大学名誉教授
インドネシア・テルコム大学客員教授
元 NTTコミュニケーション科学研究所
元 電子情報通信学会 会長